

# 五新聞

09.1.No140  
 発行 市岡日出  
 責任 0883-88-5292

新年あけましておめでとうございませう。

皆様、お元気で新しい年をお迎えのこととお  
 思います。

祖谷地帯は、雪の正月でした。この冬三日月  
 の雪で、元日は三日月のCMも積もりました。

二日月、雪まじりの風がふりました。冬は冬眠  
 と決め込んでいる私にとろは願うこともない新  
 年のスタートになりました。

ととから、今年も「ご新聞」活動祖谷村を  
 ようしくご指導の程お願ひ申し上げます。

「ご新聞」の発行は十四年目、活動祖谷村に  
 四年目を迎えることになりました。

一歩一歩のゆくりとした歩みですが、確実に足  
 跡を残してまいりました。

今年も、左記写真「もろん」ときをかえしの大甲  
 を作製し、帰省した皆さまをお迎えするこ  
 とが出来ました。もう十四回目となる大甲

今では、年開始の恒例事業となりました。



## 2009 あけまして

「宇木」(1月3日)山頂



## あめぞう

今年も一歩ずつ

絵を画くことから、国道沿いに設置をする  
 時と、協力して下さり、参加した皆さま、苦勞  
 様でした。今年も祖谷を歩きましょう。

昨年の一文字は「変」だという事です。  
 アメリカでは、次期大統領にノバオバマさんの  
 キャンペーンで、オバマさん変わるのかと期待  
 がふくらんでいます。

我が祖谷でも「変」っていいのかな？とか  
 思われる事がありました。

それは、茅葺き家根の保存、復活の動きで  
 す。その中でも茅刈り作業については、変化の  
 兆しがありました。

二十一年間ぐらい、ちいかりと高橋ぐらいで細々  
 と茅刈りをやってきましたが、落合重伝建のメン  
 バーの皆さまが連日茅刈りをしたり、コミニテ  
 祖谷の皆さまが、ちいかりの茅刈りに、たっぴ一  
 とはいえ参加して下さった事は、大きな変化  
 のあらわれでは無いでしょうか。

必要にせまらうとしたとはいえ、自分達の住ん  
 ぶる祖谷に目をあけらうとしたことは、今後に大  
 きき期待がとこそうです。



また、名頃地区の「かかしの里」作  
 りにも多くの人が参加し、かかし  
 を作り、各所で展示しています。  
 中心地である名頃での今後の  
 とり組みが大いに期待されています。  
 行った一人ではじめた綾野さんの  
 発想、行動が、多くの人の心に  
 響いたといえるもので、大切にリ  
 リンクしたいものです。

地域再生事業も二年目になり  
 ます。実験的体験がどの様にい  
 されるのか、民泊にむけたモデ  
 作り、茅葺き技術の講習  
 などの動きがあり、それ以外の  
 取り組みに、どのだけ多くの  
 祖谷の皆さまが関心するか  
 出まらうかがうかがいが大切にな  
 ると思います。

動けば先は見えて来ま  
 すので、今年も一歩ずつ